

てんじきかん
【展示期間:1/8~2/9】とくしゅう
特集させつ

ばしょ:1階 おはなしのへや周り

ことし ねん
「今年1年、よろしくでチュ!」

あけましておめでとうございます! 今年は、子年(ねずみどし)ということで、ねずみが登場する本を、たくさん集めてみました。オススメの本をしうかいでしているので、ぜひ読んでみてね。

きみ す なに
君が好きなねずみのキャラクターは何かな?



◆は請求記号です。



『ゴインキヨとチーズどろぼう』

エミリー・ロッダ／作
(あすなろ書房)
◆933 口

まち
ネコイルン町のチュウ
どあ ぱんち
チュウ通り1番地にすむのは、あ宝 チーズをいっぱいもっているお金もちネズミのゴインキヨ。

ある夜、ネコイルン町は、どろぼうにねらわれているという手紙が届き、ゴインキヨはガードマンをやとうことに…。

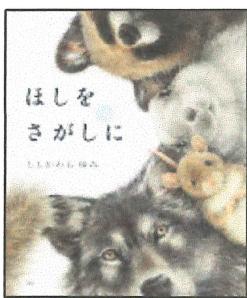


『フレディ』

さく
ディートロフ・ライヒエ／作
(旺文社)
◆943 ラ

じゅう
自由になりたいハムスターのフレディ。

まずはペットショップから出るために、人が喜びそうなポーズをテレビで見て学び、お客様にアピール!その後、ケージから抜け出しが、外は危険がいっぱい…。頭を使って、困難を乗りこえるフレディの物語。



『ほしをさがしに』

しもかわら ゆみ／作
(講談社)
◆E木

なが くじ
ねずみが流れ星を見た
よくあさ ゆき
翌朝、雪のうえに見たことのないあしあとが、ぽつん、ぽつん、ぽつんと続いていました。

ねが あね
ひとつの願いを胸に、あしあとを追いかけていくと、いろいろな動物たちに声をかけられ、一緒に、あしあとをたどることに…。

『ほくたち
ハダカデバネズミ』

ひらた まさひろ ぶん
平田 昌広／文
(児文社)
◆CEボ 489 ピンク

りこば なが は
立派な長い歯のシャベルであるをほる、はだかんぼうのハダカデバネズミ。

じめん した
アフリカの地面の下、あなたリデバや、ごはんデバ、そうじデバなど、いろいろな仕事をしているハダカデバネズミの一家をしうかいたします。



本のひととき

2020年1月発行 VOL.16 【展示期間:1/8~2/9】

毎月館内各所に設置してある特集コーナー。各月の担当が、選書からディスプレイまで“読んでもらいたい！！”という想いを込めています。ちょっと立ち読み、ちょっと一息もよし。いつもとはジャンルの違う本の世界に浸るのもよし。ほんのひととき、本とのひとときをお楽しみいただければ、嬉しいです。

◆は、請求記号です。

特集文学1:寒い冬は本で温まろう

心温まるストーリー

身体だけではなく、心もほかほかに温めて、寒い冬を乗り切りませんか？今月の特集文学1では心温まるお話を紹介しています。また、来月はバレンタインデーもやってきますので、恋愛小説もあわせて展示しています。



『アーバート、故郷に帰る』

ホマー・ピッカム／著
金原 瑞人
西田 佳子／訳
(ハーパーコリンズ・ジャパン)
◆933.7 ピツ

著者の両親の話をもとに紡いだ愛と奇跡の物語

1935年アメリカ。炭鉱で働く若夫婦は飼っているワニを故郷に帰してやるために、千キロ以上もある場所を目指し、車で旅に出ます。人生や夫婦関係に悩む2人は、旅の中で答えを見つけようとします。2人がどんな選択をするのか最後まで目が離せない1冊です。



『令和を生きていくときを考えほしいこと』

学研プラス／編
(学研プラス)
◆150.4 ガ

大人も感動する道徳教科書の物語

小・中学校の現役道徳教科書から厳選された作品を収録したこの本は、「生きる意味とは?」「人としてどう生きていくか?」をそっと問いかけてくれる1冊です。新しい年になった今、もう一度自分自身と向き合ってみてはいかがでしょうか？

特集文学2:伝統文化は“宝箱”

日本の伝統文化を見直す

受け継がれてきた日本の伝統文化は、特別なものだけではなく、日常生活の中にも見られます。普段、何気なく見ているものの中に、日本のよさを再発見しませんか？



『鳩居堂の日本のしきたり豆知識』
鳩居堂／監修
(マガジンハウス)
◆386.1 キ

知っておきたい、日本のしきたり

創業350年以上の鳩居堂(きゅうきょうどう)は、京都や東京に店を構え、お香や文房具を取り扱うお店です。その鳩居堂が、四季折々の行事のことや、人生の節目に出会う様々なことやものについて、丁寧に教えてくれる本です。



『二十四節気の暮らしを味わう 日本の伝統野菜』
木村 正典／著
naggy／イラスト
(G.B.)
◆ TU 626 キ 農

四季を味わう

二十四節気とは？伝統野菜とは？四季の移り変わりを、より繊細に感じられる暦が、二十四節気です。この時季にこの野菜、というように、伝統野菜が育てられてきました。この本を読んで、季節の変化を敏感に感じとり、それを舌でも味わえるようになりますか？

特集実用書:温活のススメ～読んで始める「冷え」対策

場所:2階 ふくちやまラウンジ

温活で「冷え」を撃退！

古来より「冷えは万病のもと」と言われています。さむ～いこの時期から、1年中ほかほか温まる「温活」をはじめてみませんか？「あふろ」「食事」「睡眠」の本を展示しています。



『ぐっすり眠れる、美人になれる！読むお風呂の魔法』
小林 麻利子／著
(主婦の友社)
◆498.3 コ

快浴=快眠

快浴が、快眠の鍵??熟睡できる入浴法は、「眠る〇時間前、〇°Cのお湯に〇分間」。体が温まると熟睡できるようになり、体も心も上向きになるそうです。新しいお風呂習慣=温活にチャレンジ！



『風呂ソムリエ』
青木 祐子／著
(集英社)
◆ BF アオ

読み終わったら、お風呂へ行こう！

お風呂大好き女子と入浴剤開発室の話。ほかほかの湯気や入浴剤のいい匂いが香ってきそうな作品です。

